

おらだですっべ

令和5年度第1回学校運営協議会を開催しました

7月5日、今年度一回目の学校運営協議会が開かれました。昨年度発足した学校運営協議会ですが、今年度より任命された方々もおり、和やかな自己紹介から会が始まりました。今年度の学校運営基本方針の説明と承認の後に、熟議を行ないました。



今回の中心的話題は「部活動について」。

報道等でもよく話題になっていますが、中学校の部活動は現在、変革期にあります。熟議の内容は後述しますが、今回は、委員それぞれの立場からご意見をいただく貴重な機会となりました。

尚、今年度の学校運営協議会委員は以下のように決定しました。

緒方 晴英 様	学校運営協議会会長	沼澤 美華 様	学校運営協議会副会長
高橋 正俊 様	楯山地区振興会長	伊藤 正幸 様	高瀬地区振興会副会長
滝口 孝一 様	高瀬コミセン所長	樋口 孝司 様	楯山コミセン所長
井上 周子 様	母親委員長	三宅 智洋 様	高楯中PTA会長
安孫子 真澄	地域学校協働活動推進員	星川 仁一	高楯中校長

熟議「高楯中の放課後休日の部活動について」

部活動の今後について考えるにあたり、6月に高楯中・高瀬小・楯山小で保護者と児童生徒に向けてアンケートを行いました。今回はそれを踏まえ、部活動の今後について意見を交わしました。

① 校長からの説明

まずは校長から、国の方針として休日の部活動の地域移行の方針が決まったこと、高楯中の生徒が減少している現状、それによって部活動がどのような現状にあるのか説明がありました。

また、市の方針等については詳細が未確定であり、競技や活動ごとに対応が異なっている現状の中、今後数年間に起こるであろう変化に備えて、「高楯中部活動改革準備委員会」を立ち上げ、学校とPTA、そして地域が連絡調整を取る体制を整える方針であることを説明しました。

② 委員からの意見

・「高楯中部活動改革準備委員会」について

子どもの送迎や活動の見守りに直接関わることの多い母親の参加を求める声や、小学生の保護者の参加、子どもたちが直接声を届けられる仕組みを作ること等、様々な要望が出されました。

これに関して、中心メンバーは多くし過ぎず、検討する内容によって関係者が参加できる形が良いのでは、という意見が出ました。

・部活動のあり方について

勝利を目指して切磋琢磨するのが部活動の良いところでもある、仲良くクラブ的な在り方で良いのか、という話から、活動においてどのような目標を持たせていくのが良いのか検討する必要があるとの意見が出ました。

また、任意加入となった場合の子どもの過ごし方が心配な一方で、他にやりたいことがあるのに部活動に縛られるのはその子にとって良くないのではという声も聞かれました。

・「休日の地域移行」について

そもそも「休日の地域移行」についてのイメージが持てない、地域に受け皿があるかどうかでも変わってくる、適当な指導者が見つかるのか、地域の間人だけで練習試合等までサポートできるのか、保険は、お金は、等、様々な懸案事項が出されました。

振興会が主体になって種目横断的に活動を支えていくという形も模索できるかもしれないという意見も出ました。

・「新しい形の放課後・休日の活動」について

生徒主体で「新しい活動をやってみたい」という動きができるようにしても良いのではないかと、一年通して同じ部活で同じ活動を続けるだけではなく、プロジェクト型の活動に地域と一緒に取り組んでいく形もできたらいいのでは、等の意見が出ました。

③ 熟議まとめ

部活動の今後については、まだ不明確な点や懸念事項が多くありますが、今回の熟議を経て、以下の点について共通認識を持つことができました。

- ・まずは高楯中と高楯地区でできることから準備していく
- ・子ども達にはぜひ活動に関わってほしい

引き続き議論を重ねつつ、できるところから行動していきたいと思えます。
